

研究テーマ	グループ活動や中間発表会での鑑賞の時間を通して、創造性を高める指導の工夫 — 小学2年「くしゃくしゃ ゑゅっ」の実践を通して —
-------	---

水戸市立見川小学校 教諭 山本 沙緒里

I 研究テーマについて

図画工作の目標は「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」である。表現と鑑賞はそれぞれに独立して働くものではなく、お互いに働きかけたり、働きかけられながら、一体的に補い合っ高まっていく活動である。これら二つの活動を通して、児童が感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようになる。

本学級は、「工作」や「ものをつくる」作業は好きだが「アイデアが浮かばない」「なにをどのようにつくったらいいのかわからない」という児童が多い。実際に、「なにをどのようにつくったらいいのかわからない」児童は、ある程度つくったら終わりにしてしまうという傾向にある。教師側から声かけをしてもそこから発展して作業を続けられる児童は少ない。低学年のうちからいろいろなアイデアや友達の作品のよいところを見たり聞いたりすることで創造性を高めていきたいと考えた。

そこで、完成作品を鑑賞するだけでは自分の作品に取り込むことができないので、作業の途中で中間発表会を設けることにした。作品づくりの途中で友達からよい意見やアイデアをもらえば、作業の幅が広がったりもっとよい作品を生み出したりすることができるのではないかと考えた。しかし、すぐに意見を伝え合うことは難しかったり、低学年では「友達の真似をした」などもめたりすることもあるので、事前に様々な作業を取り入れ、意見を言いやすい雰囲気づくりや、真似をしてもいいと思える環境づくりもしたい。そのためにも、3～4人の小グループを作りその中に図工が得意な児童やいろいろなアイデアがひらめく児童を入れることや、他教科での主体的・対話的で深い学び方などを生かして様々な意見を交換できるように設定しながら、進めていきたい。

II 研究の実際

1 題材名 くしゃくしゃ ゑゅっ

2 題材の目標

くしゃくしゃにした紙をふくらませたり、ねじったり、しばったりして形を変えることを楽しみながら、お気に入りの「友だち」をつくる。

3 題材のついで

(1) 児童（生徒）の実態

本学級30名は図画工作の時間が好きだという児童が100%である。中でも「工作」や「ものをつくること」が好きだという児童が多い。楽しいからという理由が一番多く、意欲的に図画工作の授業に取り組む児童の姿がよく見られる。しかし一方で、「アイデアが浮かばない」「形を考えるのが難しい」「ハサミで切ったりのりやボンドで貼ったりするのが難しい」という理由で「工作」を苦手としている児童もいる。今回の「くしゃくしゃ ゑゅっ」の単元を楽しみにしている、楽しんで制作活動に取り組んでいる児童はとても多い。そこで、グループ活動や中間鑑賞を取り入れることで、友達から形や飾りなどのアイデアをもらったり、グループでのりやボンド、両面テープの貼り付け方を教わったりしながら楽しく活動できるようにしたい。

(男子15人 女子15人 計30人)

図工は好きですか	はい 30人	いいえ 0人
図工で好きなものはなんですか	・絵を描く ・工作 ・粘土 ・色を塗る ・折り紙	
好きな理由はなんですか	・楽しいから ・おもしろいから	
図工で苦手なことはなんですか	・形を考えること ・アイデアを考えること ・絵を描くこと ・粘土 ・はさみで切ること ・色塗り ・のりやボンドでの貼り付け	
苦手な理由はなんですか。	・どのように作ったらいいかわからないから ・考えるのが難しいから ・クレヨンなどでかくとぐちゃぐちゃになるから ・上手にできないから 手がベタベタするから	

(2) 題材観

本題材では、くしゃくしゃにしたクラフト紙を使って大きな紙袋をつくり、膨らませたり、ねじったり、しばったりして形を変えることを楽しみながらお気に入りの「友だち」をつくる活動を行う。紙袋を縛って大まかな形をつくり、必要があれば別の紙袋でつくった部分を付け加えていく。紙袋でつくった形は、縛る場所によって

形が様々に変わるため、「〇〇に見える」「〇〇をつくらしてみたい」と想像を広げながらいろいろな形をつくらうと試行錯誤することが期待される。また、袋の中に詰める新聞紙やシュレッダー紙の量を変えたり、制作過程でつまんだり、ねじったり、丸めたり、切ったり、包んだりすることで「友だち」のイメージもどんどん膨らんでいくと考える。最初にイメージした「友だち」に様々な部分を加えながら表していく活動に適した素材である。

(3) 指導観

指導に当たっては、前時にどんなことを行うのかを知らせて、「友だち」をテーマにイメージ図を作成させる。イメージ図をかくことでつくるのに使えそうな材料を十分に準備することができ、意欲を高めることもできる。準備した材料だけでは足りない児童もいるので、「材料コーナー」を設置し、さまざまな材料に触れさせていきたい。また、制作途中に中間鑑賞会を設けることで、友達の意見を聞きながらさらに「友だち」のイメージを膨らませて自分の思いをもたせるようにしたい。グループになって活動することで、材料の付け方などを見合ったり教え合ったり、よいところを取り入れたりして、お互いに認め合いながら楽しんで制作活動に入れるようにしたい。そのためにも「見合う、話し合う、教え合う」の3つの「合う」を合言葉で指導していきたい。

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
くしゃくしゃにした紙の感じの変化や、その紙を基に「友だち」をつくることを楽しもうとする。	紙に働きかけることで生まれる形から、自分の好きな「友だち」を見付けることができる。	ふくらませ方を考え、紙を中に入れる具合や、袋をしぼる位置やしぼり方を工夫することができる。	できた作品を友人と紹介し合ったり、交換して抱き合ったりして楽しさを感じることができる。

5 指導と評価の計画（8時間扱い）

時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
第1次 ②	<ul style="list-style-type: none"> 紙と遊ぶ。 つくりたい「友だち」のイメージを設計図にかく。 必要な材料を書きだす。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙をくしゃくしゃにして何をつくらうか楽しみながら考え、つくりたい「友だち」のイメージを膨らませようとしている。 関 【観察・ワークシート】
第2次 ⑤	<ul style="list-style-type: none"> 袋をつくり、袋のいろいろなところをしぼって形つくる。 飾りつけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙に働きかけることで生まれる形から、自分の好きな「友だち」を見付けることができる。 創 【観察・ワークシート】
	<ul style="list-style-type: none"> 中間発表会をする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内の友だちの「友だち」を見て、乾燥を伝えたり、アイデアを考えたりすることができる。 鑑 【発表・ワークシート】
	<ul style="list-style-type: none"> つくりたい「友だち」になるように、顔をかいたり飾りをつけたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 膨らませ方を考え、紙を中に入れる具合や、袋のしぼる位置やしぼり方を工夫することができる。 発 【観察・ワークシート】
第3次 ①	<ul style="list-style-type: none"> つくった「友だち」をみんなに紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> できた作品を友人と紹介し合ったり、交換して抱き合ったりして、楽しさを感じることができる。 鑑 【観察・ワークシート】

6 指導の実際

○伝え合う作業①

ペットボトルのキャップをつかって



○伝え合う作業②
新聞紙をちぎって

見合う



話し合う



教え合う



- (1) ねらい
〇つくりたい「友だち」になるように、顔をかいたり飾りを付けたりすることができる。
(発想や構想の能力)
- (2) 準備・資料
 ・紙袋 ・新聞紙 ・シュレッダー紙 ・両面テープ ・ガムテープ ・のり ・ひも ・輪ゴム
 ・モール ・毛糸 ・トイレトペーパーの芯 ・ペットボトルキャップ ・プルトップ
 ・グルーガン ・ペン ・はさみ

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習内容を知る。</p> <div data-bbox="183 907 774 974" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くふうしてかざりつけをして、「友だち」 をすてきにへんしんさせよう！</p> </div> <p>2 中間鑑賞会をする。</p> <div data-bbox="183 1019 375 1220" style="display: inline-block;"> </div> <div data-bbox="446 1041 774 1243" style="display: inline-block; background-color: black; width: 150px; height: 80px; margin-left: 20px;"></div> <div data-bbox="159 1288 518 1568" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>・魚にはうろこがあるよ。 ・うろこはプルトップで付けるとキラキラしてすてきだね。</p> </div> <div data-bbox="518 1411 774 1556" style="display: inline-block;"> </div> <p>3 友だちの意見を取り入れながら、工夫して「友だち」づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲がっているへビもいいけど、渦巻きのへビもいいな。 ・魚にプルトップを付けよう。なにでつけられるかな。 ・新聞紙の棒をたくさん作ってハリネズミに刺して針にしよう。 ・ウサギをつくるつもりだったけど、耳が短くなってしまったから猫に変えよう。 ・洋服を着せて一緒に散歩したいな。 ・ぎゅっとして一緒に眠りたいな。 <p>4 本時の振り返りをして次時への関心を高める。</p>	<p>・変身する前と変身した後の「友だち」を見せることで、自分の「友だち」ももっとすてきに変身させたいという意欲を高める。</p> <p>・前時につくった作品をお互いに見せ合い意見を伝え合うことで、本時の学習意欲を高められるようにする。</p> <p>・5人グループになり、順番で自分の「友だち」を紹介するよう指示する。</p> <p>・紹介するときは詳しく説明することが大切だと伝える。</p> <p>・聞いている側は、さらに「友だち」をよくするためにどうしたらいいかを考えさせる。</p> <p>・意見をもらう側は、ワークシートの裏のメモ欄に取り入れたい意見をメモするよう指示する。</p> <p>・どのように変えたらいいのか分からないときは質問をし、一緒に考えさせる。</p> <p>・気になる作品があるときはやり方を聞いたり教えてもらったりするように助言する。</p> <p>・しぼり方や貼り付け方などグループの中で参考にできるものは参考にするように伝える。</p> <p>・どのようにアドバイスしていいか分からない児童には、どうしたら〇〇に見えるかを考えさせるなど援助する。</p> <p>・準備してきたものがない材料のときは「材料コーナー」から取ってきてもいいことを伝える。</p> <div data-bbox="829 1646 1412 1736" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「友だち」をすてきに変身させるために、工夫して飾りつけをしている。 (観察、ワークシート)</p> </div> <p>・制作途中で内容を変更したい児童がいたときには、それでもいいことを伝える。</p> <p>・「友だち」と一緒になにをしたいのかを考えさせることで飾りつけの意欲を高める。</p> <p>・どのように作ったらいいか困っている児童には、グループや周りの「友だち」を見に行ったり、似ている作品を作っている友達のところに行ったりしてアイディアが浮かぶように支援する。</p> <p>・工夫したところや変更点などをワークシートに書くよう指示する。</p>

カラフルなちょう

どんな 風船を つくろうかな?

メモ

- 目をつける
- 糸をきかす

かんそう 気づいたこと へんかしたこと

ふくろの中にいろいろなものを入れてもやわらかからたしそんなにやわらかさもかわらなかつた。

いろいろなものをいれこぎさつておもしろいね。

ほかからいろいろなアイデアをもらってそれをやったら前つけたともだちよりももつともかわいくなりました。

すずはPVCをからえたんだね。

飛ぶよりいいな。かけひきもいろいろなものをつけたりするのはおもしろいね。



おもしろいちょう

どんな 風船を つくろうかな?

おもしろいちょうにネットをのせる

かんそう 気づいたこと へんかしたこと

ていびいにつくった

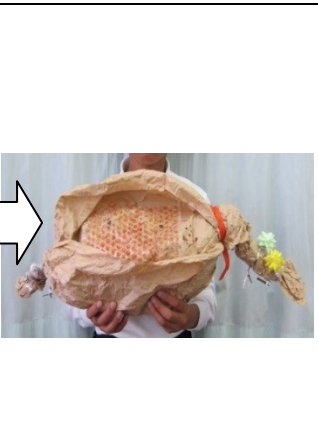
どんなおもしろいものかおもしろいね。

すずはPVCにはおもしろいね。

よもぎをかきこんでネットをのせておもしろいね。

ていびいがかおもしろいね。

取をつけたらおもしろいね。



おもしろいちょう

どんな 風船を つくろうかな?

おもしろいちょうを、かす。

- おもしろいちょうにする。
- おもしろいちょう。
- おもしろいちょう。

かんそう 気づいたこと へんかしたこと

ふくろをつくるのがおもしろいね。

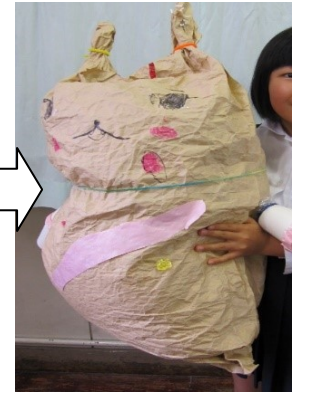
おもしろいちょうを、かす。

おもしろいちょうは、おもしろいね。

おもしろいちょうは、おもしろいね。

おもしろいちょうは、おもしろいね。

おもしろいちょうは、おもしろいね。



おもしろいちょう

どんな 風船を つくろうかな?

おもしろいちょう

おもしろいちょうを、かす。

かんそう 気づいたこと へんかしたこと

ふくろを、かす。

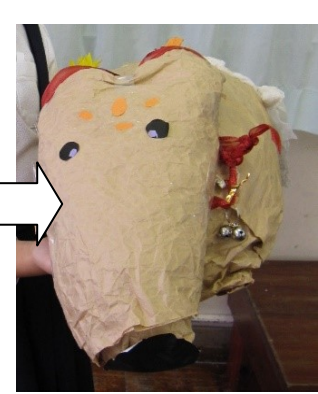
おもしろいちょうを、かす。

おもしろいちょうは、おもしろいね。

おもしろいちょうは、おもしろいね。

おもしろいちょうは、おもしろいね。

おもしろいちょうは、おもしろいね。



おもしろいちょう

どんな 風船を つくろうかな?

おもしろいちょう

- おもしろいちょうを、かす。
- おもしろいちょうにする。
- おもしろいちょう。
- おもしろいちょう。

かんそう 気づいたこと へんかしたこと

ふくろのりてく、ついたら、おもしろいね。

おもしろいちょうを、かす。

おもしろいちょうは、おもしろいね。

おもしろいちょうは、おもしろいね。

おもしろいちょうは、おもしろいね。

おもしろいちょうは、おもしろいね。



III 研究の成果と課題

1 成果

くしゃくしゃ ぎゅ は 楽しかったですか	はい 30	いいえ 0
作ひんづくりで楽しかったことはなんですか？	ふくろづくり	
むずかしかったところはなんですか	体をつくる 手・足をつける ふくろを作る 顔をつくる もようをつける 首を立てる ようふくをきせる リボンでむすぶ	
友達にアイデアをもらって作ひんを作るのはどうでしたか	うれしかった 9 楽しかった 7 よくできた 6 すてきにできた 3 どうすればよいか分かった 3 きれいにできた 1 おしゃれにできた 1	

アンケートをしてみると、友達にアイデアをもらって「うれしかった」「楽しかった」「よくできた」「すてきにできた」「どうすればいいのか分かった」など、児童にとってプラスになる結果になっており、今回の中間発表会はとても有効的だったと感じる。授業中に話し合い活動が積極的に行われていたグループもいくつかあり、「早く図工の時間にならないかな」「続きが作りたい」などという意欲的な意見や、図工を苦手としている児童からも『くしゃくしゃ ぎゅっ』は楽しかった」という感想が多かった。友達からアイデアをもらうことで、自分だけでは気が付かないアイデアを膨らませることができた。中間発表会を行ったことで、図工を得意としていた児童は、友達が自分のアイデアを活用してくれることでより自信をつけることができ、図工は好きでもつくる作業を苦手としている児童は、つくることとアイデアを出すことは違うことが分かり、自分のアイデアを称賛されることで自信をもつことができた。

今回の単元だけではなく次の単元である「まどをひらいて」でも、周りの友達と協力しながら楽しくアイデアや意見を交換しながら作業を進めることができた。カッターの使い方や画用紙の建て方、窓の形などを工夫し、グループや教室全体で話し合い活動と取り入れながら意欲的に進めることができた。また、図画工作科だけでなく、他の教科でも積極的に話し合い活動をしたり協力したりする姿勢が見られるようになった。今回の授業の中でのキーワードであった、「見合う」「話し合う」「教え合う」の3つの「合う」の活動でお互いを認め合うことができ、それによって自信がついたからだと考えられる。

2 課題

中間発表会を取り入れたことによってアイデアを共有できたことはよかったが、話し合い活動を取り入れることで楽しくなってしまう、「よりよい友だちをつくらう」という目的から外れてしまうグループもあり、違う話に進んでしまったり装飾することなどにばかり手を入れてしまったりする児童もいた。低学年ということもあり、話し合い活動や図画工作の時間の中間発表会に慣れていないということもあると思うが、メリハリをもった時間の使い方やその時の児童の様子などを感じ取りながら指導していく必要があると感じた。また、改めて「伝え方」の訓練の必要性を感じた。具体的に伝えることのできる児童の育成として、鑑賞の時間をしっかりと取り、低学年のうちにはまず「色」と「形」に目を向けて鑑賞できるようにしたい。そのためにもアートカードやいろいろな作品を見せ、それぞれの作品の色と形とを比較しながらどこが似ていてどこが違うのかななどを伝えられるようにしていきたい。

また、もっとアイデアを生かせるようにと「材料コーナー」を設置したが、材料にだけ興味を示し持っていてしまい、本当にその材料を必要としている児童の手に渡らずに終わってしまうことがあった。単元や作品づくりに入る前に、「こういう材料を取っておくといいよ」など、事前にいろいろな身の周りにある材料を見せておくことで、自分たちでも家庭で準備できることを伝えておくこともこれから先の図画工作科の授業では大事だと感じた。

参考文献

「小学校学習指導要領解説 図画工作編」 文部科学省 平成20年8月